

# 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成24年10月26日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4691200218号
法人名	ケアサポート霧島
事業所名	グループホーム きりっま
所在地	鹿児島県霧島市霧島大窪63-2 (電話) 0995-64-8095
自己評価作成日	平成24年9月28

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホーム「きりっま」は霧島の麓自然環境に恵まれた田園地帯に立地し、美味しい空気を体一杯に取り入れ気持ち良く過ごせる場所にある。周りの景色は四季折々の花々が咲き誇り散歩・ドライブ・山菜取りをすることも利用者の楽しみの一つとなっている。また園庭に畑をつくり収穫した新鮮な野菜を食べて頂くなど日々自然と触れ合って楽しく暮らしていただけるよう「家庭的な環境」を支援している。グループホームの理念を職員全員で意識して支援するよう心掛け、職員は生活のパートナーとして、利用者、家族に接し一日一日を張りのある充実した生活を送れるよう努めている。また医師との連携を徹底し定期的な医師・看護師による往診。緊急時は24時間対応して頂ける関係である。常に一人一人のニーズに合わせて個別の関わりを重視し人生の大先輩として敬いの心を持って接している。

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成24年10月23日

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

霧島山麓の豊かな自然環境の中、すぐそばを列車が走りまた近辺には小川が流れ、田園を見渡すと四季折々の景色を感じる事が出来る。広い敷地内に作った東屋を利用して散歩したり、お茶やお弁当を楽しんだり利用者を楽しそうな様子が伺える。また庭の菜園には野菜や花も植えてあり皆で育て収穫を楽しみにして、収穫した野菜はそのまま食卓を飾ることもある。ホームは日頃から地域との交流が活発で、敬老会へも呼ばれたり、地域の読書会へも参加している。ホームとしてはさらに地域との交流を深くもち協力体制を築いていきたいと考えている。医療体制も地域の協力医と連携が図られており24時間でできている。利用者の外出は買い物や墓参りへ希望があれば連れて行き、ドライブがてら足湯や温泉にも連れて行っている。管理者と職員も信頼関係が構築され、職員の研修機会への参加や資格取得にも協力している。常にサービスの資質向上に熱意を以って取り組み、さらには利用者の心身両面でのレベル向上につながっているグループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	月一回の職員会議で読み合わせしたりして全員の意識の共有ができています。	毎月職員に個人の目標と反省の機会をもたせて、会議の時には自己評価を全員の前で発表している。理念は全員で会議の時に唱和し、常に理念に沿ったケアの実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域との交流は年々多くなってきていると思う。地域の敬老会には顔を出している。	自治会には加入していないが、地域との交流で行事への招待があり読書会や敬老会などには参加している。事業所の敬老会では近隣に食事・菓子を提供したり、また野菜を頂いたりの交流もある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	近隣の人達には散歩の時挨拶を通じて交流している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	支所の片等と上手に連携がとれていると思います。	2ヵ月に一度、民生委員・家族・行政・消防署・職員の参加で開催している。地域交流・行方不明者対応・環境作りなど毎回テーマを決めて討議している。討議された内容はサービス向上に活かされている。また参加できなかった家族にはホーム便りで報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	必要時は相談に行ったりと協力関係が築けている。	相談に行ったり助言をもらうなど、市との連携はとれている。市より長寿のお祝いをとどけてくれる職員もいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束になり得る状況などを常に話し合い考え身体拘束にならない仕方を見つけだしケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会を設置し「身体拘束排除宣言」を掲げて、いかなるときにも拘束はしない。勉強会も定期的に行い、拘束のないケアに取り組んでいる。施錠はせず自由な暮らしを支援している。となりのユニットへ出向く利用者にはどの職員でもケア出来る様にしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	常に利用者様の立場になり利用者様の人権を尊重する考えを忘れず周りとも連携し間違えのないケアを行えるようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	本人ご家族にとって不安な事や心配になる事がない様各ご家族様への資料の提出を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>管理者 ケアマネが対応し間違いのない説明にてご理解頂いた上で契約して頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ケアマネ 主任 各担当者の意見を聞いたり生活の状態など伝えたりしている。</p>	<p>家族の来訪時や家族会などで意見、要望などを聞いている。出された意見・要望は全体会で話し合い運営に反映させている。利用者からは会話や言動から要望などを引き出している。重要事項説明書には第三者委員の流れもあるが、具体的な窓口の明記はない状態で、今後の課題としている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>ミーティング 職員会議などで意見提案を言って運営に反映させている。</p>	<p>各棟の会議、全体会と毎月2回の会議を全員参加で行っている。ケアや意見提案など活発に話し合いサービスの向上に反映している。また事業所は職員への資格取得の支援も行っている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>管理者との個人面談等で提案を出したりミーティング時職員間での話し合いをしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>本人が希望する研修など勤務調整を行い参加している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修会等で交流を持ちその後も連携が取れている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に本人と話をする。時間をもうけ希望する生活が送れるような機会をもうけている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	より良い信頼関係を築くために御家族の要望など常に言えるようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	情報提供などを共にして家族の要望も含め話し合い、対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の経験や得意な事を活かし職員も学びながら生活している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時等状態報告をすると共に家族からの意見なども取り入れ少しでも不安のないように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の話や経験談をよく知り知らない事をなくし、いつでも要望に対応できるようにしている。	各棟の会議、全体会と毎月2回の会議を全員参加で行っている。ケアや意見提案など活発に話し合いサービスの向上に反映させている。また事業所は職員への資格取得の支援も行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	談話の時間を持ち利用者様全員話の内容に入られるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	共に生活する上で家族のような関係づくりに努めスタッフ、利用者様共にいつでも話し合いに行くなどできるようにしている。又亡くなった方に対しては初盆には挨拶に行き顔を出している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人様の希望・意向の把握に努め出来るだけそれに近い生活が送れるように努めている。	日常会話の中から思いや意向の把握をしている。会話の出来ない利用者からは、表情を見ながら行動や家族からの情報からその希望、意向の把握に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時家族からの聞き取りや又本人様から会話等で生活経緯についての把握に努めている。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の流れを理解し本人本位の生活を送って頂けるように努めている。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人様と家族、担当、ケアマネを中心に話し合う場をもうけている。	モニタリング表を作成し日々評価して、見直しにも活かされている。本人・家族の希望で喫煙（本人の楽しみで食後のみ）をプランに取り入れたり、安心した生活が出来る様に家族と電話や手紙を交わすプランなど本人が不安を取り除いた生活出来る様にケアプランに取り入れている。担当者会議には家族や主治医にも出席してもらい利用者に応じた介護計画を作成している。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の個人記録を元に共に情報を出し合いミーティング等話し合いの場で検討し計画の見直しをその都度行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時の状況に応じて病院受診など支援を行い又ドライブ・買い物等にも出掛けたりしている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	元気であった頃の友人が面会に来て下さっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人様の希望する歯科・皮膚科受診なども受けられるように支援している又かかりつけ医の受診の連絡なども家族と行い支援している。	定期的な往診を毎月2回受診している。受診後の報告もしている。他科受診は本人や家族の状況に応じて同行している。協力かかりつけ医との連携は24時間体制で取られている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	担当Drへその都度連絡し受診指示を頂いている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	その都度 ケアマネによって情報提供し連携を取っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	日々の状態を常に把握しケアマネ、管理者を中心に家族と連携を取っている。	入居時に本人・家族の希望を聞き、ホームの方針を説明している。利用者の身体状況に応じて、本人・家族の方向性を確認し、ホームで出来る最大限の支援に取り組んでいる。看取りの経験も有り、24時間体制で医療機関との連携も図られている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	勉強会や消防所の指導などの元事故の場合などの対応を全スタッフで学んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防災訓練時 地域の方の参加も 行い協力体制を築いている。</p>	<p>一年に2回、昼夜間想定で避難訓練を行っている。自主訓練として地震訓練も行っている。消火器などの使用方法の説明会では家族が参加し勉強になったと好評を得た。備蓄も数日分の確保は出来ている。近隣の会社との協力体制を今後検討しているところである。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人の生き方や気持ちをまず第一に考え優先している。	接遇・個人情報保護については全体会で勉強している。トイレ誘導などは羞恥心に対する配慮を考え特に気をつけている。職員間でも注意し合い、資質の向上に向け取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人様の担当を中心に本人様と話しをしミーティング等で話し合いをもうけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	管理者からもミーティング等で指摘され時々変更などしている為しないように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	散歩や外出の時などその日の気温などに適した本人の選ぶ着たい服などを着て頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の好きな物、嫌いな物を理解した上でバランスのとれた利用者様全員が喜ばれるメニュー作りに努めている。	庭の東屋を利用してお茶やお弁当を広げて楽しむこともある。園庭の家庭菜園のお世話をし、その収穫を楽しみ食卓をかざることもある。食事の準備や片付けなど率先して手伝ってくれる利用者もおり、蕎麦打ちや団子作りなどは利用者からアドバイスをもらいながら一緒につくっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日食事量 水分量のチェックをし検食簿にて栄養バランスがかたよらないように注意しながら支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	誤嚥性肺炎の予防を行い義歯の方は荒い残しがないかの確認を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を元に声掛けし誘導自立に向け支援を行っている。	排泄チェック表で細かな声掛け誘導を行っている。紙おむつからの自立が多く継続出来る様に支援している。ホームの目標は排泄改善をめざしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表を元に排便の状態を確認し医師との相談指示を受けている。朝牛乳を飲んで頂く等している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	曜日は決まっているが一人一人プライバシーを尊重し安心して入浴して頂けるように支援している。	基本は一日おきだが、希望があれば毎日でも可能であり、ドライブがてら足湯に連れて行ったり、温泉に行き入浴を楽しむこともある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	眠たい時は時間に関係なく居室にてゆっくりと休んで頂くように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各自の服薬表をチェックし服用して頂いてる又異常時に気付いたら医師との連絡をし指示を頂くように努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人様の力を活かし出来る事はなるべくして頂き気分転換等の支援を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物・ドライブなどにも参加して頂き又家族の方とのドライブ、食事、旅行にも時間の連絡等を取り出掛けられるように支援している。	園庭の散歩を楽しんだり、買い物にも連れて行き日常的に外出を楽しんでいる。近辺のつわや山菜採りにも出かけ食卓をかざることもある。また東屋を利用して外に出ることを楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	一部本人が現金を所持されているが特別な事がない限り使わない特に必要な品物があれば職員から家族へ連絡する。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	本人様の希望があればその都度連絡を取る支援はしている。希望がなくてもやり取りができるようにしている。		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	利用者様の好きな花等を置いている イベント等の際の写真を貼りいつでも見て頂くようにしている。	広い共用空間はダイニングとリビングに分かれており、リビングには畳もあり移動式のテーブルも作られている。またオープン式のキッチンでは利用者が手伝いやすくなっている。居室周りにはウッドデッキがあり直接外へ出る事も出来る。ホールの壁には利用者の元気な写真が貼られている。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	好きな時に好きな事が出来るようスタッフも注意し一人で過ごせるスペースを確保している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の使用していた小物や欲しい物を家族と協力し取り入れるようにしている。	利用者の使い慣れた物や好みの物を置いている。タンスや椅子などもそれぞれに個性的な居室作りができています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人一人の希望や状態に合った空間作りに努め第三者目線から見た過ごしやすい空間づくるにも努めている。		



**V アウトカム項目**

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない